

# 平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区名	西成区
学校名	大阪市立今宮中学校
学校長名	堀端和彦

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）
  - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
  - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
  - ・生徒に対する調査
  - ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・今宮中学校では、第3学年 58名

## 平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率で見た場合、本校の平均は全国平均のみならず、大阪市平均にも及ばない結果となつた。数学Bでかろうじて大阪市平均に肉薄できたかというところか。領域で見ると、国語Bの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で大阪市平均を少し上回っている。また、数学Aの「資料の活用」では、大阪市、全国平均も上回っている。全く箸にも棒にもかからないという状況ではないが、生徒質問紙調査からも分かるように、基本的生活習慣や家庭学習習慣の未定着など学校外での学習が確保されていないところが課題である。今後も工夫が必要であると考える。

## 分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 Aでは「話すこと・聞くこと」並びに「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、全国との差が10ポイント以上あり、国語Bではそれほど大きな差はないものの、何れの領域でも数ポイント低い。問題形式で言えば、短答式が苦手のようだ。評価の観点から言えば、「話す・聞く能力」並びに「言語についての知識・理解・技能」が全国との差が大きく、効果的な対策を進める必要がある。

〔数学〕 数学Aでは「関数」が苦手なようで、国より10ポイント近く低い。「資料の活用」については、大阪市、国の平均を上回っている。数学Bでも軒並み低いが、各領域とも国と4ポイント未満の差にとどまっている。丁寧な取り組みを続けることで、挽回できる範囲であると考える。

数学については、本校のこの数年の流れの中でも、平均点が全国を上回ることも幾度かあったので、取り組みの方向としては大きく間違っていないものと考えるが、今後も創意工夫を続ける必要がある。

質問紙調査より

朝食、就寝時刻、起床時刻などの基本的生活習慣についてはまだまだ課題がある。加えて、ゲームやビデオ、スマートフォンなどを使っている時間は非常に長い。つまり、家庭での学習の時間が確保されていないのが現状である。しかし、幸いなことに自己肯定感は比較的高く、将来への夢や希望も持てている。あとは、それに向けて積極的に取り組む姿勢が加わればどんどん伸びていくはずなのだが…。本校は英語に積極的に取り組んでいる事もあり、「外国について知りたい」「留学、国際的な仕事」についても興味を持っている。学校の規則を守る意識も高く、いじめについても「いけない」との肯定的回答が100%であった。また、「人の役に立つ人になりたい」についても肯定的回答は98%と前向きな回答が多く、将来が楽しみである。

## 今後の取組

規範意識や前向きの姿勢など生きていく上でのバックボーンとなる基本的な部分は身についていると考えている。結果の概要にも書いたように、学校外での学習をどう確保していくかが重要なところであるのだが、それはなかなか難しい。西成区役所が提供する事業などの活用も含めて、勧めていきたい。

同時に、学校内での学習についてはこれまでも習熟度別少人数授業など活用しながら、基礎・基本の定着を図ってきたが、より充実したものにしていく必要がある。本校は施設一体型小中一貫校であるので、その利点も生かして、小学校の段階から中学校の先生が関わる中で、将来を見据えた学力の向上の工夫を進めていきたい。

## 【 全体の概要 】

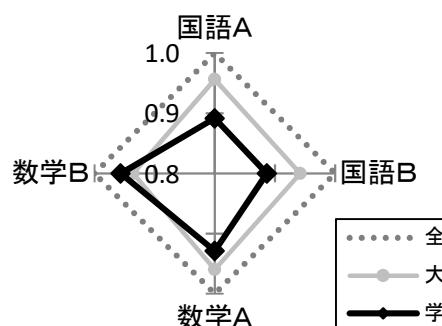
### 平均正答率(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	69	64	60	46
大阪市	74	68	62	45
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

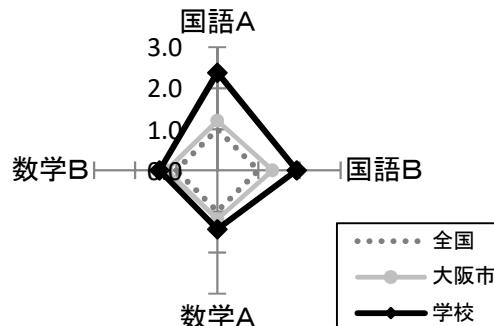
### 平均無解答率(%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	5.7	7.3	9.0	16.5
大阪市	2.9	5.1	7.5	14.5
全国	2.4	3.8	6.3	11.7

平均正答率(対全国比)



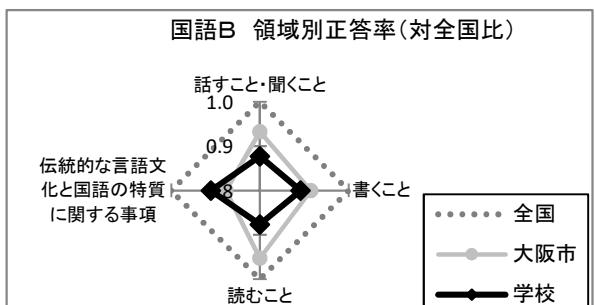
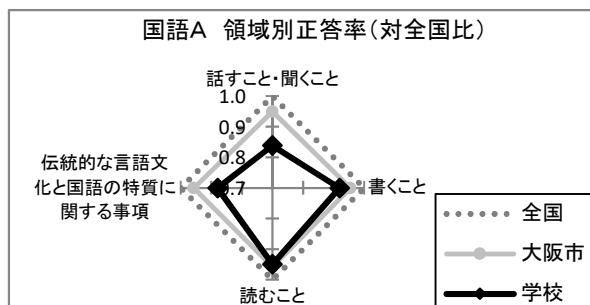
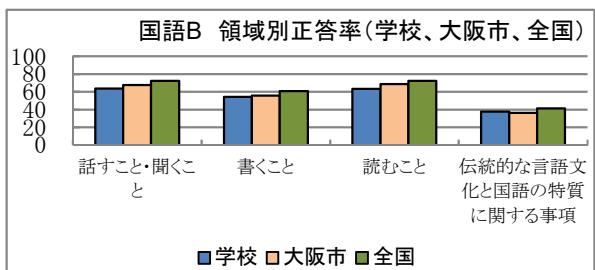
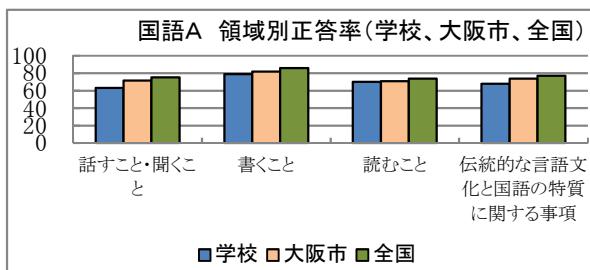
平均無解答率(対全国比)



## 【 国語 】

A 問題	平均正答率(%)					
	学校	大阪市	全国			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	4	63.2	71.6		
	書くこと	4	78.8	81.8		
	読むこと	6	70.1	70.7		
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	67.9	73.9		
			75.4	85.7	73.8	77.2

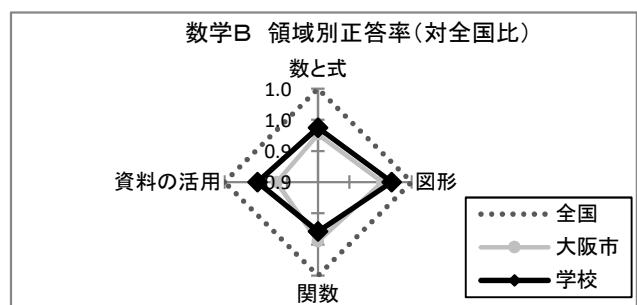
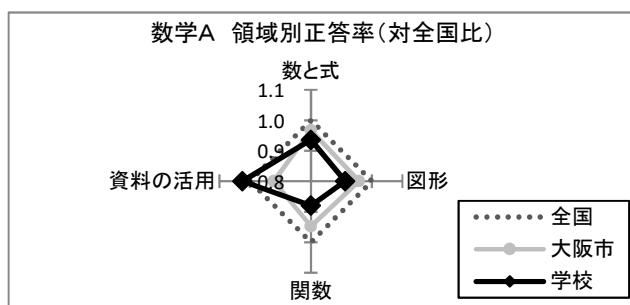
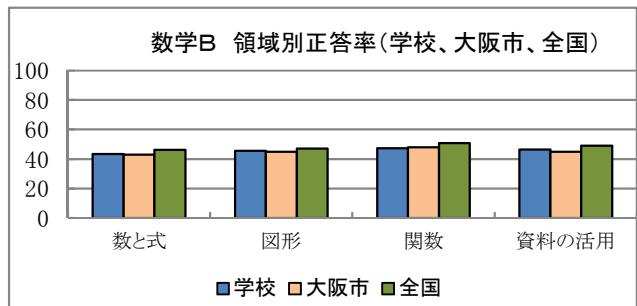
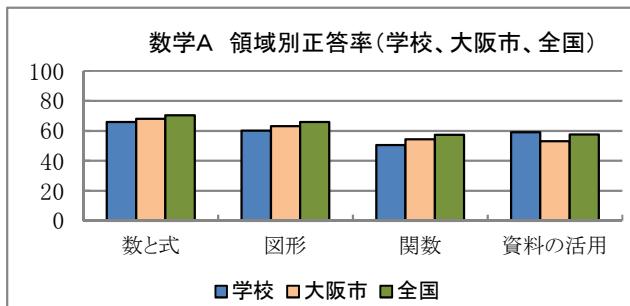
B 問題	平均正答率(%)					
	学校	大阪市	全国			
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	63.5	67.5		
	書くこと	4	54.2	55.6		
	読むこと	4	63.2	68.7		
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	37.7	36.3		
			72.4	60.8	72.1	41.4



# 【 数 学 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	65.9	68.1
	図形	12	60.2	63.2
	関数	8	50.5	54.4
	資料の活用	4	59.0	53.1

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	3	43.4	42.9
	図形	6	45.6	44.9
	関数	3	47.2	48.0
	資料の活用	3	46.5	45.0



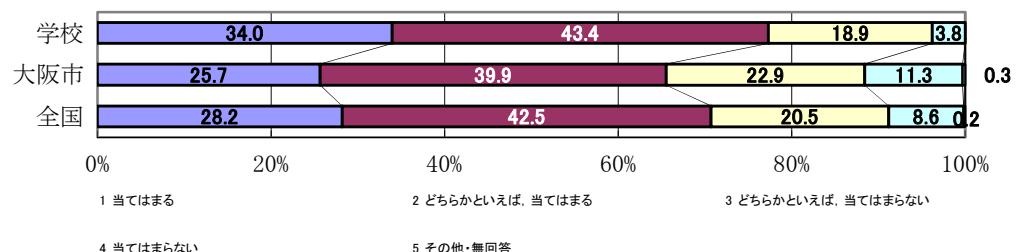
# 生徒質問紙より

□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■11

## 質問番号 質問事項

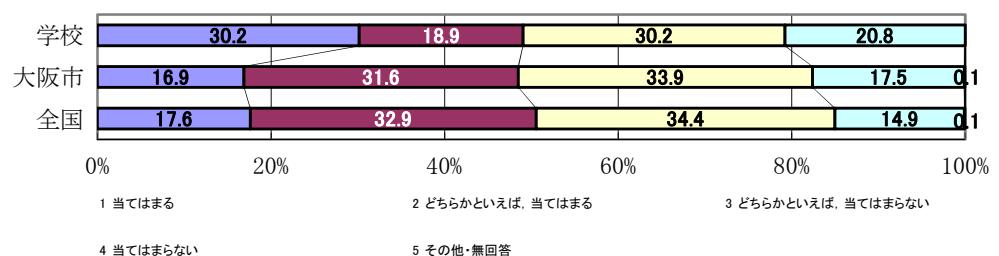
6

自分には、よいところがある  
と思いますか



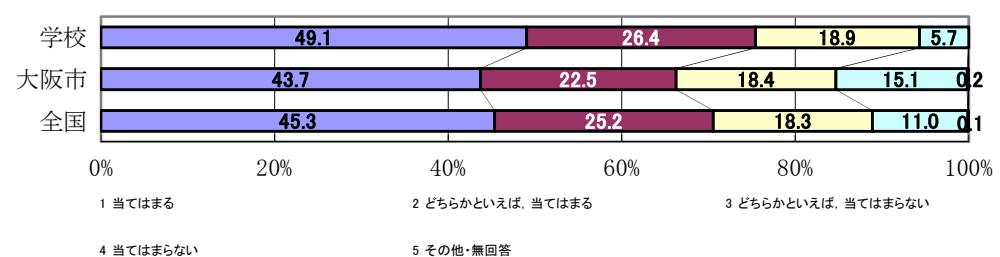
7

友達の前で自分の考え方や  
意見を発表することは得意  
ですか



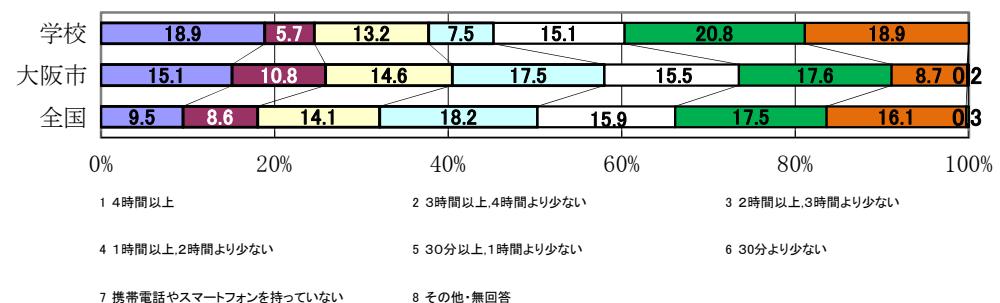
10

将来の夢や目標を持って  
いますか



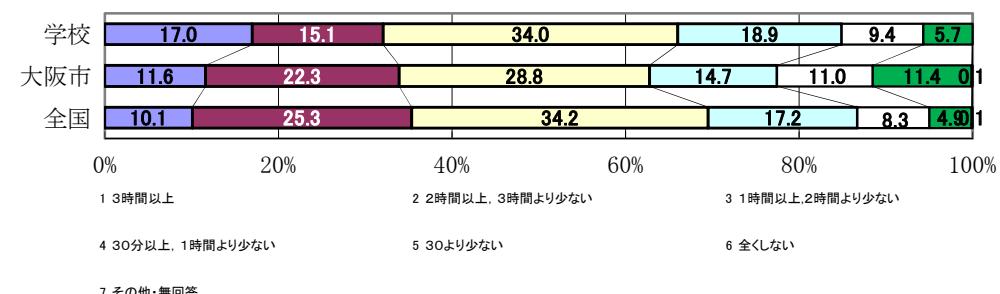
14

普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



15

学校の授業時間以外に, 普段(月～金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



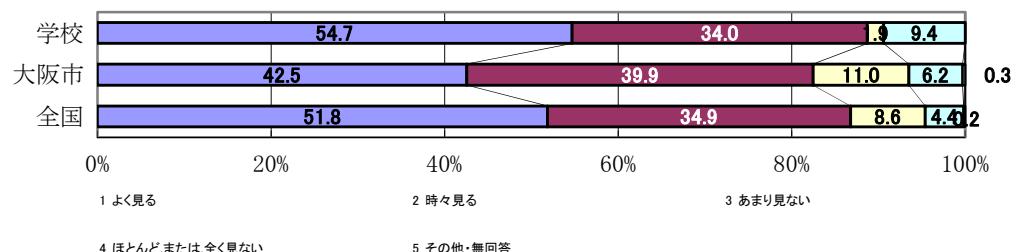
## 生徒質問紙より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10 ■11

質問番号  
質問事項

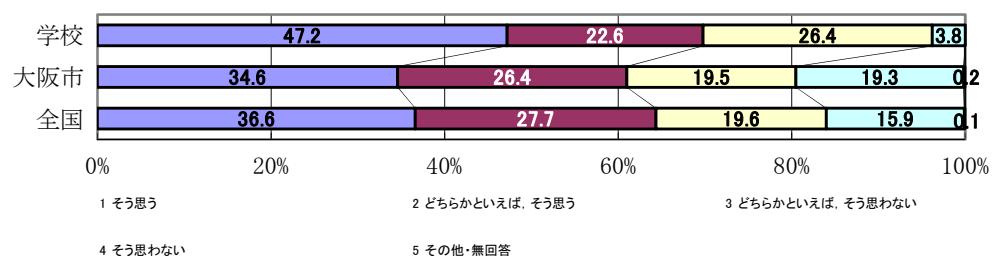
48

テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか(携帯電話やスマートフォンを使ってインターネットのニュースを見る場合も含む)



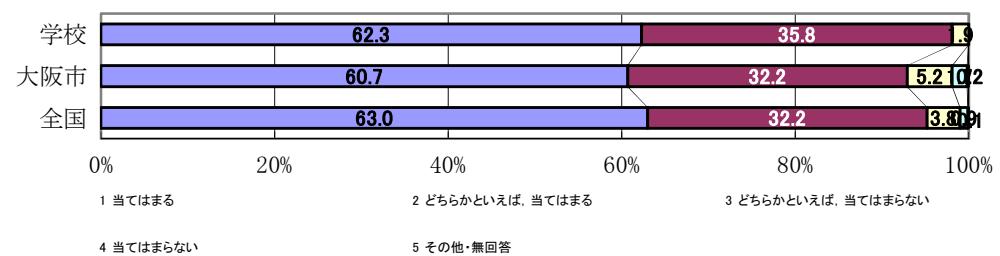
49

外国人の人と友達になったり、外国のことについてもつと知ったりしてみたいと思いますか



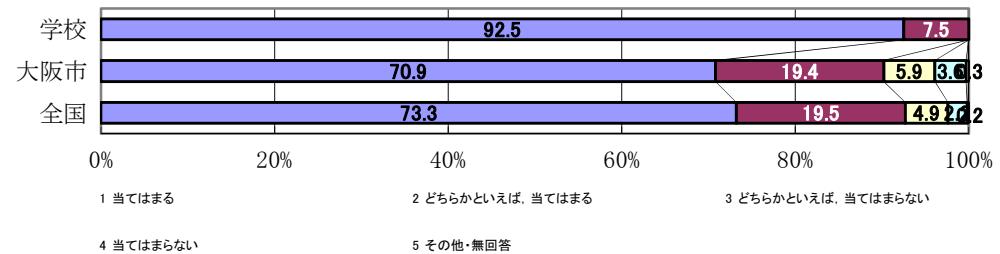
51

学校の規則を守っていますか



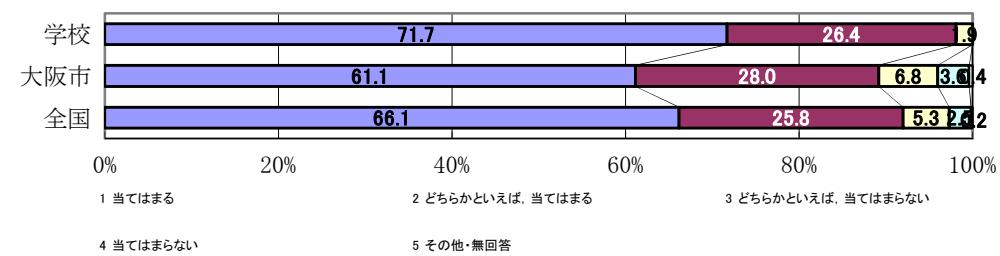
54

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



55

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



## 学校質問紙より

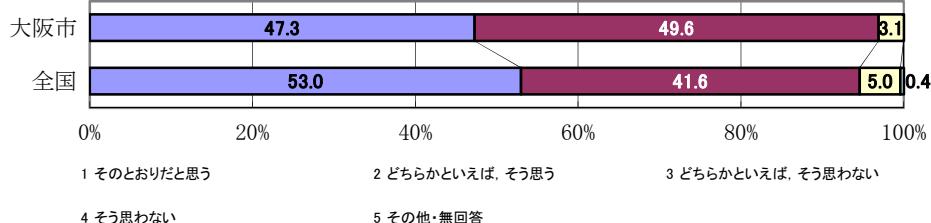
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号  
質問事項

13

調査対象学年の生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

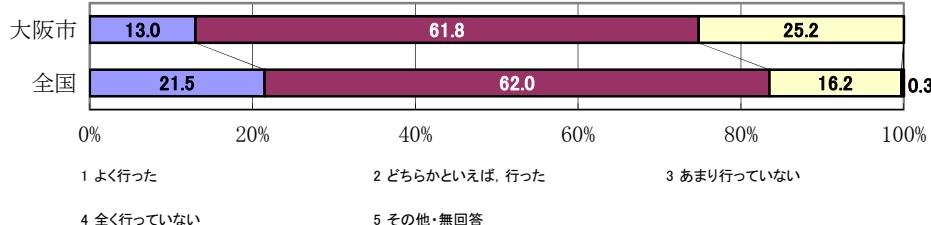
### 学校 「そのとおりだと思う」を選択



42

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、本やインターネットなどを使った資料の調べ方が身に付くよう指導しましたか

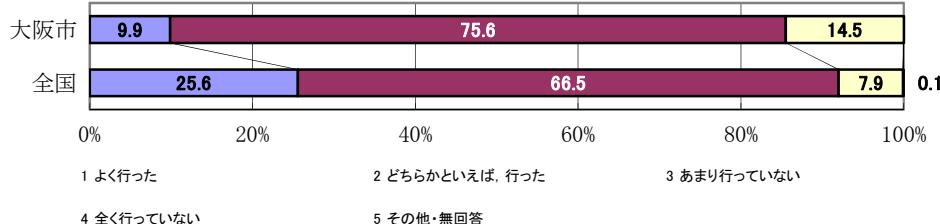
### 学校 「よく行った」を選択



44

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、自分で調べたことや考えたことを分かりやすく文章に書かせる指導をしましたか

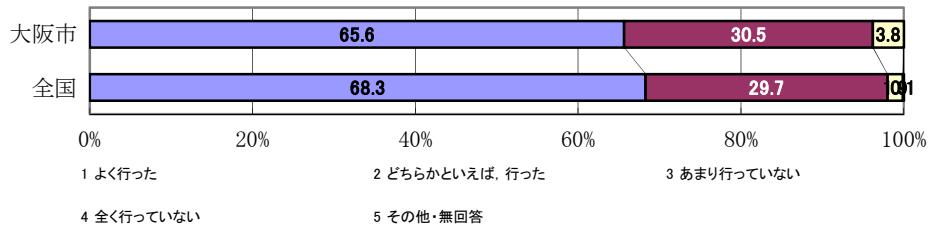
### 学校 「よく行った」を選択



48

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか

### 学校 「よく行った」を選択



52

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、コンピュータ等の情報通信技術(パソコン(タブレット端末を含む)、電子黒板、実物投影機、プロジェクター、インターネットなどを指す)を活用して、子供同士が教え合い学び合うなどの学習(協働学習)や課題発見・解決型の学習指導を行いましたか

### 学校 「よく行った」を選択

